

ふじの宮したの畑

有機農業を始めたのは2年前で、村山浅間神社の少し南側にある畑をお借りしています。

生まれ育ちは富士宮ですが、大学から東京に住み、ずっと東京で働いていました。前職はテレビのディレクターです。

農業を始めた当初は、よく「前の仕事の方がよかったんじゃないの?」と言われてきましたが、仕事にやりがいや手応えを求めて転職したわけでして、いまは「なんか、人間らしい生活をしているなあ」と感じる日々です。

仕事を辞めた後、1年半ほどかけて北は北海道、南は長崎まで、全国のじゃがいも農家さんのもとで働かせてもらいました。なぜじゃがいもなのか?それは単純に「好きだから」ということと、もし食べるものにも困って



畑を開墾する筆者

じゃがいもならばお腹いっぱいになるからです。

仕事を辞めた後、富士宮で有機農業をしようというところはある程度決めていたのですが、



研修先の北海道のじゃがいも畑

最低でも1年間はどこかで研修をしようと思ひ、全国のじゃがいも農家を巡り、住み込みで働きました。

有機農家として独立する場合、独立しようと思っている場所の有機農家のもとで1年間研修するというのが近道ではありますが、あえてそれをやらなかったのは、自分自身の「特色」を出すためでした。

北海道、茨城、広島、長崎など、全国行脚することで、じゃがいも栽培のプロフェッショナルな農家さんに出会うことができ、その経験は貴重な財産だと思っています。と、真面目に書きましたが、軽トラで全国各地を旅するのはきつと今しかできないことであり、単純に面白そうだったからという動機でもあります。家族はあきれたと思いますが…。

農業研修の最後は、三島市のじゃ

がいも農家さんのところに半年間通わせてもらいました。三島と言えば、三島コロッケで有名ですから。

その後、富士宮で農地を探し、村山の畑に決めました。村山には「村山人参」と呼ばれる人参があるということを知り、それならば根菜類の栽培に適しているだろうと考えたのです。

現在、お借りしている畑は5反5畝ほどです。じゃがいも、人参、玉ねぎを中心に栽培をしているのですが、この3種の野菜で連想する料理と言えば、「カレー」ですね。将来の経営目標はカレーの移動販売をすることです。カレーのスパイスの原料も自家製しようと目論んでいます。

さらに移動販売車の名前も決めていきます。その名は『じゃが元気号』近い将来、あなたの近所にも「じゃが元気号」が現れるかもしれませ



見晴らしのよい村山の畑

ん。(2014年10月記)

ふじの宮したの畑 宮下 亮太

就農：平成25年4月 畑の場所：富士宮市 村山
栽培面積：畑60a 栽培作物数：50種類
主力作物：俵じゃがいもシリーズ、村山人参、白糸唐辛子
連絡先：www.facebook.com/ryota.miyashita

